

令和 4 年度小牧市教育委員会情報セキュリティ監査結果

1. 監査の対象校及び実施期間

(1) 対象校

北里小学校、米野小学校、一色小学校、応時中学校、岩崎中学校

(2) 実施期間

令和 4 年 9 月 7 日から令和 5 年 1 月 2 4 日まで

2. 監査の方法

情報資産の管理、物理的セキュリティ及び人的セキュリティに関する取組状況等について、教職員対象のアンケート調査及び校務外部接続系端末のフリーソフトウェア調査を行うとともに、関係教員から説明を聴取し、校務の執行が適正かつ合理的・効率的に行われているかどうかを主眼として監査を実施した。

3. 監査の結果

監査を実施した範囲においての各校のセキュリティに関する取組状況について、次のとおり改善を要する指摘事項が識別された。

一人ひとりの教員及び学校組織におけるセキュリティ意識、情報漏えいに対する危機意識を向上し、各校において、現状の把握及び運用管理に関して改善に努められたい。

(1) 教職員アンケート調査による自己点検

(全校)

- ・ 小牧市教育情報セキュリティポリシー及び実施手順を読んだことがない教職員がいたため、同ポリシー等について再度周知されたい。
- ・ 授業や会議等で 比較的長く席を外すときは、端末をロックしたり、容易に閲覧されたりしない場所に保管するとともに、帰宅時には端末をシャットダウンするよう周知徹底されたい。
- ・ C4th 等の各システムのパスワードを机上にメモしたり、オートコンプリート機能を有効にして、自動で入力したりしないよう周知徹底されたい。
- ・ 業務以外の目的で、電子メールアドレスの使用やインターネットへのアク

セスをしないよう周知徹底されたい。

- ・ 個人情報など重要な情報資産を、電子メール等で外部に送信する場合は、暗号化またはパスワードの設定をするよう周知徹底されたい。
- ・ 電子メールを複数の宛先に送信する際には、BCCを利用して、送信先間で電子メールアドレスが知られることがないよう周知徹底されたい。
- ・ 円滑に校務を遂行するため、校務サーバや交換箱において、必要のなくなったデータは速やかに削除するよう周知徹底されたい。
- ・ クラウド上のデータを学校外のPCにダウンロード・保存する行為は、「組織外部への情報資産の持ち出し」に該当する。クラウド上へのデータのアップロードは情報資産の内容・公開の可否などを踏まえて適切に判断したうえで、クラウド上に保存したデータを学校外のパソコンにダウンロードしないよう周知徹底されたい。
- ・ 各種データを取り扱うにあたり、「情報資産の分類」の重要性に照らし合わせ、端末やデータの保存先を区別するよう周知徹底されたい。
- ・ パソコンの近くに飲み物（蓋なし）を置くなど、コンピュータの故障につながる行為をしないよう周知徹底されたい。

(米野小学校、応時中学校、岩崎中学校)

- ・ 学校のモバイル端末やUSBメモリ等を外部へ持ち出す際は、校長の許可を得るよう周知徹底されたい。

(2) 校務外部接続系端末のフリーソフトウェア調査

(全校)

- ・ 小牧市教育委員会教育情報セキュリティポリシー及び教育情報セキュリティ実施手順において、教職員用の端末は市教育委員会が定めた以外のソフトウェアをインストールすることを原則禁止しており、新たなソフトウェアのインストールが必要な場合は、学校教育ICT推進室長に申請し、許可を得る必要がある。
- ・ 令和4年11月7日時点において、対象端末数202台のうち、必要な申請手続きを経ずにフリーソフトをインストールした端末が16台確認された。(北里小学校2台、米野小学校2台、一色小学校2台、応時中学校6台、岩崎中学校4台)
- ・ フリーソフトのインストールは、ウイルス感染や情報漏えい、コンピュー

システムシステムの破壊など、情報セキュリティに関する重大な事故につながる可能性があるため、十分な安全確認を行う必要がある。業務上必要なフリーソフトがある場合は、必ず学校教育 I C T 推進室長に申請し、許可を得るよう周知徹底されたい。

(3) 現場調査及び教職員ヒアリング

職員室内で以下の状況が確認されたため、情報漏えい及びコンピュータの故障につながる行為をしないよう、周知徹底されたい。

(岩崎中学校)

- ・各教室に設置しているタブレット用充電保管庫の鍵について、使用時以外は職員室内の鍵ボードに保管する仕組みであるが、鍵の貸出・返却状況の確認体制が整備されていなかった。
- ・授業支援ソフトウェア等の各システムのパスワードを机上にメモしていた。
- ・教職員の USB メモリの保有及び使用状況について把握できていなかった。
- ・パソコンの近くに飲み物が入ったマグカップ等(蓋なし)が置かれていた。

(応時中学校)

- ・授業支援ソフトウェア等の各システムのパスワードを机上にメモしていた。
- ・離席時に、ロックされていない端末が確認された。
- ・教職員の USB メモリの保有及び使用状況について把握できていなかった。
- ・パソコンの近くに飲み物が入ったマグカップ等(蓋なし)が置かれていた。

(4) その他

(学校教育 I C T 推進室)

- ・昨年度に引き続き、今年度のフリーソフトウェア監査においても、校務外部接続系端末において、必要な申請手続きを経ずにフリーソフトをインストールした端末が確認された。故意又は過失等によるフリーソフトのインストールが、情報セキュリティに関する重大な事故を引き起こすことがないように、システム及び設定等の見直しを検討されたい。
- ・小牧市教育情報セキュリティポリシーの「5 人的セキュリティ対策 (1) 教職員等の遵守事項」において、「支給以外のパソコン、モバイル

端末及び電磁的記録媒体等を原則業務に利用してはならない。ただし、業務上必要な場合は、教育情報セキュリティ管理者（校長）の許可を得て利用することができる」、「端末等の持ち出し及び持ち込みについては、記録を作成し、保管しなければならない」と規定されている。今回の自己点検及び現場調査を踏まえ、これらの規定が全小中学校で遵守されるよう改めて周知徹底されたい。